

エンディングノートを通して 自分らしく生きるために考える

「穏やかな最期を迎えるために望む医療とは」

『エンディングノート』とは、人生の終わりをみつめることで、生きている今を再確認し、よりよくイキイキと生きていくためのもの。

『エンディングノート』の中でも特に難しい項目、“医療”に注目し、終末期医療の現場で働いていた看護師の話をつきかけに、自分にとって、家族にとって必要な医療とはどういうものか、望む医療の形を共に考えていきます。

日時：2015年 1月21日(水)
19:00～21:00 (受付：18:30～)

場所：千代田区麴町
(詳細場所は、お申込者に直接お知らせします)

参加費：5,000円(事前振り込み)
※当日は6,000円

主催：トラベシア (travessia 石崎公子事務所)



絵本『忘れられないおくりもの』をテキストに活用



講師
ヒキダシスト
コミュニケーション・スペシャリスト

石崎 公子

広告代理店で25年勤務。TV、新聞、雑誌等広告やPR、イベント、パンフレット類などのコミュニケーション活動に関わる。退職後は自分らしく生きるための活動に注力。最大のブランドは個人の生き方であるとの思いから、エンディングノートを活用した終活関連講演などを手がける。著書「失敗しないエンディングノートの書き方」(法研)



講師
緩和ケア認定看護師
石川 麗子

国立水戸病院附属看護学校卒業後、国立水戸病院に勤務。その後、仏教系緩和ケア病棟のある長岡西病院、キリスト教系のホスピス病棟の東京衛生病院に勤務。2008年、埼玉県立大学で緩和ケア認定看護師教育課程を履修、資格修得。戸田中央総合病院にて緩和ケア病棟の立ち上げに尽力。

お申し込み・お問い合わせは、トラベシアへ：ご氏名・連絡先をお知らせください。

お電話の方：03-6796-4111

FAXの方：03-5433-9240

Emailの方：info@travessia-endingnote.biz

主催：トラベシア
<http://www.travessia-endingnote.biz/>